



山 | 梨 | 大 | 学 | | 新 | 技 | 術 | 情 | 報 | ク | ラ | ブ |



～インフォメーション～



【第 26-3 号】



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ

最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

産学官連携コーディネータ

活動レポート (コラム)

【No.12】

新技術情報クラブ会員の皆様、はじめまして！最上修平と申します。

本年7月16日より、本学社会連携・研究支援機構で産学官連携コーディネータとして勤務しております。宜しくお願い致します。

簡単に自己紹介をさせて戴きます。

昨年9月まで、大手半導体メーカーに32年以上勤務し、国内外の工場で「生産ラインの構築と合理化」を製造装置を中心に行ってきました。

エンジニアとしては、成膜装置・エッチング装置・裏面研削装置を、マネージャとしては、投資計画・装置の保守改善を主に行ってきました。

この間、会員の皆様の何社かともお付き合いを戴いております。

現業務は、新技術情報クラブの運営やイベント出展が主となっておりますが、並行して共同研究・受託研究の推進や特許権利化・活用もやっていく予定です。

産学官の技術交流の促進から、成果としての知財の活用までを展望したコーディネータをしていきたいと思っております。

新技術情報クラブの活動の一つである「アカデミックサロン」の第3回を、9/19(金)16:00から甲府駅北口「カフェ風土」にて、開催致しました。

初めての参画でしたので準備段階から緊張しておりましたが、最終的には24人もの出席となり、活気ある楽しい時間を過ごすことが出来ました。

話題は、大学院附属ものづくり教育実践センターの石田准教授の「金属系材料用3Dプリンタ」、工学部情報メカトロニクス工学科の牧野助教の「群ロボット、能動ホースほか」で、分かり易く説明して戴きました。出席者からの活発な質問や意見と、それらに丁寧に回答し感謝する先生方の姿が印象に残っています。

大学の研究者と企業との間に立つ者として、双方のお顔を拝見し話が出来る機会でもあり、これからも大事な場として続けて行きたいと思いました。

「アカデミックサロン」は、ソフトウェア系/ものづくり系/バイオ化学ライフサイエンス系/エネルギーほか系の各系の話題での開催を考えており、次回(第4回)はソフトウェア系話題で10月開催を予定しています。

最近、日差しがあるものの柔らかく穏やかな日々が続いています。

先週9月23日は秋分の日でした。

春分と同じく、太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の長さが同じになります。太陽が極楽浄土があるという真西に沈むことから、亡くなった人をしのぶ日とされているそうです。

この日を境に寒さが増してきます。生活も秋冬モードへの切り替えを怠りなく。

□ ■

■ 技術シーズが紹介されています!!

やまなし技術の宝石箱

http://www.pref.yamanashi.jp/sangyo-shien/techno-jewel-box/seeds/2010_01.html

山梨中央銀行 山梨大学発"ビジネスチャンス"直行便!

<http://www.yamanashibank.co.jp/hojin/service/shien/765.html>

↓↓↓↓↓↓↓↓

この内容をご覧になって関心がある研究者が見つかりましたら、

面談設定も可能ですので是非ご一報ください。

貴社訪問いたします！！

山梨大学新技術情報クラブの会員企業さまを訪問する制度があるのはご存知でしょうか？

山梨大学の産学連携関係者（研究者、コーディネータ）が、会員企業さまの現場に伺って交流し、直接ご相談等を受けさせて頂くものです。

山梨大学との交流のきっかけ、あるいは連携を深める機会として活用して頂ければ幸いです。

ご希望の会員は、下記の情報を添えて、メールにてお申込ください。

- 企業名
- 業種・分野
- 相談内容
- 訪問場所
- 複数の訪問希望日・時間帯
- ご担当者名
- 連絡先電話番号およびメールアドレス

お申込メール送信先： renkei-as@yamanashi.ac.jp



▼ 連絡先

国立大学法人山梨大学
社会連携・研究支援機構
社会連携・知財管理センター
新技術情報クラブ事務局

TEL:055-220-8758

FAX:055-220-8757

renkei-as@yamanashi.ac.jp



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。